

平成28年

平成29年

【「あきた県民文化芸術祭」参加事業】

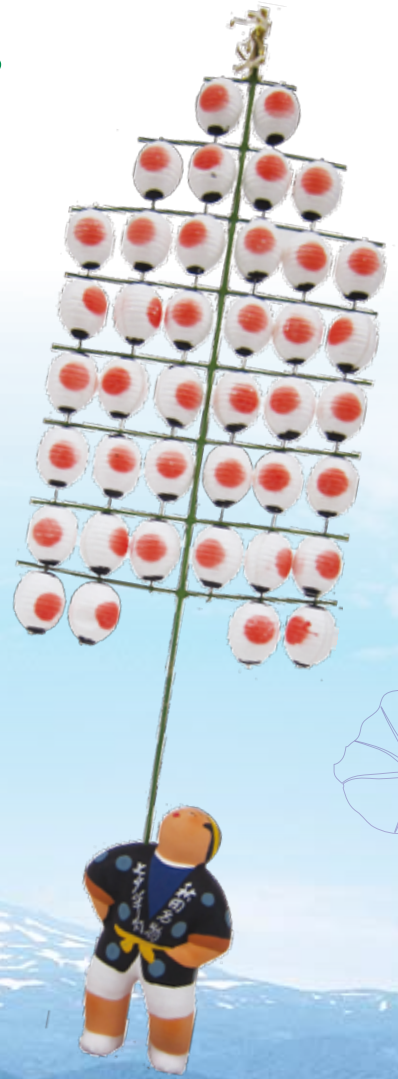
11月19日(土)～4月2日(日)



四季のたのしみ

くらしのいろどり

昭和三十年代 秋田の春夏秋冬



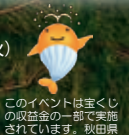
写真撮影：種村夕貴

秋田県立博物館

休館日 月曜日(月曜が祝・休日の時は次の平日が休館) 年末年始:12月28日(水)～1月3日(火)

開館時間 9:30～16:00(4月1日以降は16:30閉館)

お問合せ 〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山52
TEL:018-873-4121 / FAX:018-873-4123 / E-mail:info@akihaku.jp

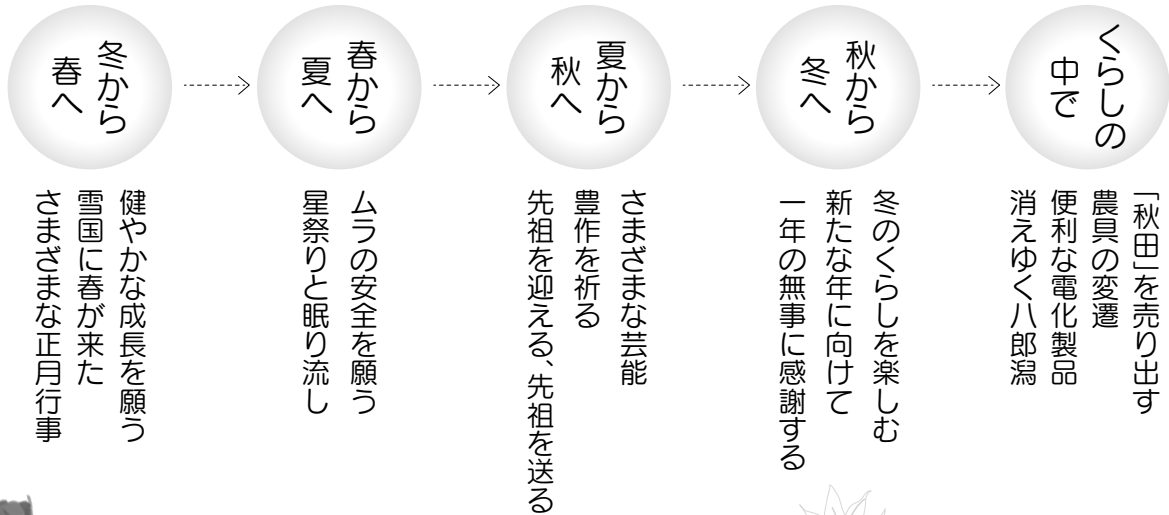


このイベントは宝くじの収益金の一部で実施されています。秋田県

昭和30年代の四季おりおりの祭りや行事と ひとびとの暮らしをご紹介します。

秋田県内では四季おりおりの祭りや行事が数多く行われています。それらは時代や生活様式にあわせて少しずつ形をかえながら、今日まで受け継がれてきました。

本展では、昭和30年代の秋田の祭りや行事を紹介します。この時期は秋田国体や東京オリンピックが開催され、人びとの暮らしも大きく変わった時でした。その中で、先代から受け継がれてきた祭りや行事も変化を迫られます。暮らしの変化の中で、祭りや行事がどのように継承されてきたのかを、展示の中から考えてみたいと思います。



健やかな成長を願う
雪国に春が来た
さまざまな正月行事

ムラの安全を願う
星祭りと呼ばれる

さまざまな芸能
豊作を祈る
先祖を迎える、先祖を送る

冬のくらしを楽しむ
新たな年に向けて
一年の無事に感謝する

「秋田」を売り出す
農具の変遷
便利な電化製品
消えゆく八郎潟



彼岸花（館蔵）
寒さの厳しい地域では春彼岸に生花を調達しにくいため、先祖に造花を手向けます。



テレビ（館蔵）
昭和39年に開催された東京オリンピックの年に購入したものです。



お杉わらべ（館蔵）
秋田杉を用いた民芸品で昭和34年から販売されました。

展示付帯事業

■イタヤで弁当箱を作ってみよう

平成29年3月12日(日) 10時～15時
会場：博物館実験教室 定員20名(15歳以上) 事前申込要
講師：田口 昭平氏(オエダラ製製作技術保存会会長)
参加費：お1人様2,000円

■民俗芸能公演 本海獅子舞番楽

平成29年3月26日(日) 14時～15時
会場：博物館講堂 定員200名 事前申込要
参加費：無料

※上記2事業の申込みは、平成29年1月11日(水)9時から開始します。

■展示解説

11月26日(土)、12月3日(土)、12月24日(土)、
1月7日(土)、1月28日(土)、2月12日(日)、
2月18日(土)、3月4日(土)いずれも14時から30分程度
※詳細は博物館にお問い合わせください。



【交通案内】

- JR線をご利用の場合：奥羽線・男鹿線「追分駅」から徒歩20分
- バスをご利用の場合：秋田中央交通「金足農業高校入口」から徒歩15分
- お車をご利用の場合：秋田自動車道「昭和男鹿I.C.」から10分
「秋田北I.C.」から15分